



平成29年度
鳥取大学男女共同参画推進室 活動報告



目 次

1. 基本理念	1
2. 学内環境整備の取り組み	1
3. 実施体制	2
4. 室員名簿	2
5. ミーティング	2
6. 平成29年度の取り組み	3
7. 事業実施状況	4
(1) 研究活動支援	4
(2) ライフイベントとの両立支援	7
(3) キャリアデザイン支援	8
(4) 意識啓発活動など	20
(5) その他	23
8. ニュースレター	24

1. 基本理念

鳥取大学は

- 世のため人のために頑張ろうと志す人の気持ちをくじくことなく、前向きに進んで行こうとする人を応援する職場・勉学環境
- 既婚、独身、同居、別居に関わらず家族を大切に、健全な家庭を育んでいける職場・勉学環境を形成していくことを目指します。

行動計画

- ・ライフイベントとの両立支援

ライフイベントと研究および職務を両立するための支援・情報提供および環境整備に取り組み、また相談活動を行います。

- ・キャリアデザイン支援

企業見学会や女性研究員・技術者との交流会、ロールモデルとの交流会などを開催し、キャリアデザイン支援を行います。

- ・啓発活動等

男女共同参画についての理解と認識を深め、学内の意識改革を進めるため、セミナーや講演会等を開催します。

2. 学内環境整備の取り組み

■ 研究活動支援

1. 研究支援員制度

技術補佐員、リサーチアシスタント、アルバイト等を雇用し、研究支援員として子育てや介護等のライフイベントにより、研究活動における支援を必要としている女性研究者および女性研究者をパートナーとする男性研究者に配置する。

■ 女子学生のライフキャリアデザイン支援

1. 女子学生・大学院生による企業見学会

女子学生・大学院生を対象とした、企業を含む研究・開発・試験機関等の見学および女性研究員・技術者との交流会を行う。

2. メンターカフェ

女性研究者・技術者をロールモデルとして迎え、女子学生・大学院生との交流会を開催する。

■ ライフイベントとの両立支援

1. 子育て・介護に役立つ情報提供

本学における育児・介護に関わる制度に関する情報、地域自治体(鳥取市・米子市)の子育てや介護支援サービスに関する情報を、ホームページ、印刷物、説明会により提供する。

2. 相談活動

女性研究者、女子学生・大学院生を対象とする相談活動を行う。また、相談員育成のために、教職員を対象とするコミュニケーション研修会を開催する。

■ 啓発活動等

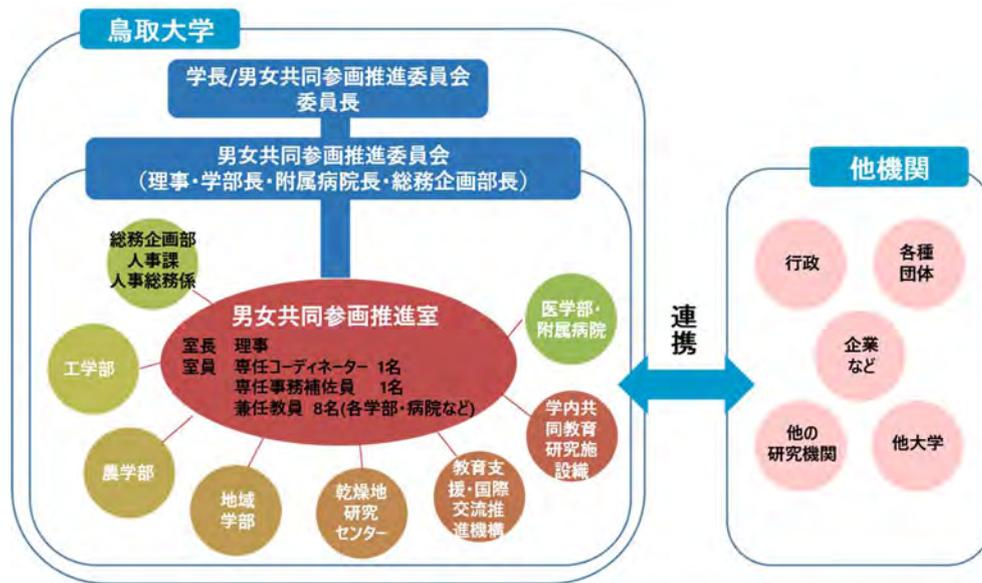
講演会・セミナー

男女共同参画についての理解と認識を深め、学内の意識改革を進めるために、管理職を対象としたトップセミナー、教職員や学生・大学院生を対象としたシンポジウム、講演会、セミナー等を開催する。

その他

講演会等各種イベントのご案内の他、仕事とライフイベントの両立に役立つ情報を発信する。

3. 実施体制



4. 室員名簿

室長	理事	細井 由彦
専任コーディネーター	男女共同参画推進室 コーディネーター	長谷 順子
兼任教員	地域学部 准教授	畑 千鶴乃
兼任教員	工学研究科 教授	岩井 儀雄
兼任教員	工学研究科 准教授	浅井 秀子
兼任教員	農学部 教授	竹内 崇師
兼任教員	乾燥地研究センター 准教授	安 萍
兼任教員	大学教育支援機構 教育センター 助教	滝波 稚子
兼任教員	医学部附属病院 准教授	谷口 美也子
兼任教員	医学部附属病院 准教授	山田 七子

5. ミーティング

平成29年度男女共同参画推進室ミーティングを計4回開催し、事業内容の検討および実施を行った。

- 第1回 7月18日 13時30分～
- 第2回 8月22日 13時30分～
- 第3回 10月 3日 13時30分～
- 第4回 12月20日 13時30分～

6. 平成29年度の取り組み

- 4月28日 ニュースレター『Pear Pair 通信』第17号発行
- 6月 1日 『女子学生のための企業見学会（県内版）』開催
寿製菓株式会社および株式会社ケイズ 訪問
- 6月14日 ニュースレター『Pear Pair 通信』第18号発行
- 6月20日 DVセミナー開催
- 6月29日 LGBTセミナー開催
- 8月25日 ニュースレター『Pear Pair 通信』第19号発行
- 9月 1日 男女共同参画推進室内に【休憩室&相談室】を開設
- 9月12日 英語論文セミナー『論文執筆のための技術英語』開催：米子キャンパス
- 9月20日
～21日 『女子学生のための企業見学会（関西版）』開催
オムロン株式会社および小林製薬株式会社 訪問
- 10月 5日 ニュースレター『Pear Pair 通信』第20号発行
- 10月 8日 ライフプランセミナー（妊娠・出産）『キャリアプランと妊娠・出産のタイミング』
ミニレクチャー 鳥取県東部不妊専門相談センターと共催
- 10月19日 英語論文セミナー『論文執筆のための技術英語』開催：鳥取キャンパス
- 11月 8日 ライフプランセミナー（人生設計）『ライフプランと家計管理術』開催：鳥取キャンパス
- 11月17日 第6回中国・四国男女共同参画推進連携会議および
第9回中四国男女共同参画シンポジウム 参加：広島大学
- 11月20日 ライフプランセミナー（人生設計）『ライフプランと家計管理術』開催：米子キャンパス
- 12月 5日 ニュースレター『Pear Pair 通信』第21号発行
- 12月 5日 コミュニケーションセミナー『男女脳差理解によるダイバーシティ・コミュニケーション』開催
- 2月 5日 ニュースレター『Pear Pair 通信』第22号発行
- 2月26日 平成30年度（第9期）研究支援員制度利用者 募集開始

7. 事業実施状況

(1) 研究活動支援

○研究支援員制度

ライフイベントのために研究時間が十分にとれない研究者に対して研究支援員を配置し、研究活動に対する支援を行った。女性研究者だけでなく男性研究者へも支援を拡大し、年度単位の支援とすることで更なる負担軽減を図った。平成29年度第8期は、女性研究者11名、男性研究者3名の計14名に研究支援員の配置を承認した。

研究支援員配置を承認した研究者

	人数	内訳		理由	
		女性	男性	育児	介護他
第8期（H29）	14	11	3	9	3

<研究支援員制度利用者の声>（抜粋）

- ◆ 家庭と仕事の両立というよりは、共倒れに近い精神状況になることも時もあった。そんな状況でも支援員のサポートを受けられることで、自身や子が病気の時や、保育園でイベント（面談など）などの際に、安心して休暇を取ることができた。
- ◆ 支援員によるサポートは、精神的また体力的なゆとりを持つことに繋がるので、子供と過ごす時間の質や研究を含む仕事自体へのモチベーションの向上に大きく影響したと感じている。
- ◆ 従来であると、夕方一旦帰宅し、再び夜間に大学へ戻って仕事をする。また、土曜・日曜日に出勤して行う等で対応していたが、昼間に支援していただけることで、職務では研究や学生指導に十分な時間を使用することができた。夜間に大学に戻り仕事をする回数も少なくなった。
- ◆ これまで、中断できない実験中の子供の急病時などには、夫と交替で仕事に行くというスタンスを取っていましたが、研究支援員の配置によりこのような事も少なくなりました。よって、仕事と私生活をこれまでより、体力的にも精神的にもバランス良く両立することができました。
- ◆ これまで子どもの発病などで研究が中断されることがストレスとなっていたが、研究支援員の配置で身体的負担やストレスが軽減され、仕事時間の短縮にもつながった。家庭にいられる時間も増えたことで、心にゆとりを持って子どもと接することができるようになり、ワークライフバランスが改善されたと感じている。
- ◆ 子供と過ごす時間を少しでも多く確保することができ、支援を受ける以前より子供の話を聞いたり一緒に遊んだりする精神的な余裕も生まれたと感じる。
- ◆ 大学での仕事、研究活動、家事に加えて、子どもの通院等にも時間が割かれてしまうことが難点であった。しかし支援員に手伝ってもらうことで、若干その負担が減った。また家庭に帰ってからの時間を家族のために使うことができたこともメリットであったと考えている。
- ◆ 支援員の配置により、仕事と家庭生活の両立ができ、精力的に仕事ができたと実感している。教育負担が今までで最も大きかったため、ワークライフバランスの視点で考えると研究支援員なくては、保てなかったと断言できる。限られた時間の中で、一定の成果を継続的に上げることがで

きているのは、研究支援員配置のおかげである。

- ◆ 現在も育児に追われる毎日であるが、研究支援員様の配置により、研究教育以外の領域に若干の時間を割くことが可能になった。
- ◆ 育児に加え母の介助が必要となり、研究時間の確保が非常に厳しい状況だった。このような状況のなか、支援員に補助をしてもらうことで研究を続け、筆頭著者論文 1 報を投稿できたことは、支援員制度のおかげであると感謝している。
- ◆ 以前では、子供の体調などによって急に早退したり休んだりした時、それまでの実験材料や成果を無駄にすることが度々あった。しかし、配置後には、実験成果を無駄にしないようにサンプルの調整や保存、研究結果を写真データとして残すなどの対応をしてもらえ、研究活動を効率的に進めることができた。

＜研究支援員制度支援者の声＞ （抜粋）

- ◆ 昨年度に引き続き今年度も雇用していただく中で、実験手法にも慣れて、自分で計画して業務を進めることができるようになった。また、心に少し余裕が生まれたことで、大学での教育・研究に関心が向き、自分の業務以外の中でも新しいことを吸収する貴重な機会となった。
- ◆ データ収集、動物実験の補助など多岐に渡る研究の補助をさせていただいたことで、研究をより身近に感じることができ、将来実際に自分で研究してみたいと思うきっかけになった。
- ◆ 普段の勉強の内容が実際の臨床や実験で用いられていることがわかり、日々の学習の意欲が増した。
- ◆ 研究で取り扱う患者の個人情報などをどのように収集し保管するかなど研究を行う上で最も重要な事を学びました。
- ◆ 治療効果を判定するため、どういう検査値が指標となるのか捉えることができるとともに、効率的に多数の患者の治療成績を集める上で、新規薬剤の臨床評価を一步進めることができたと考えられる。
- ◆ 細胞やマウスを使った研究の手伝いをさせていただいたことで、研究がより身近に感じるようになった。また、研究の手技を丁寧に教えていただいたことは、非常にためになった。
- ◆ 臨床現場で働く医師がどのような研究をどのように行っているのかを知ることができ、将来自分が医師になったときのためになった。
- ◆ 学生の早い段階から医療現場を間近に見ることができ、現場で求められる医師像をより鮮明に得られたことが挙げられます。
- ◆ データ等の管理方法、エクセルを用いた作業を行うことにより、パソコンでの業務を行う能力が身についた。
- ◆ 連続で支援させて頂いた事で技術がさらに上達し、キャリアアップにつながりました。また、研究の進捗を常に議論することで、研究の進め方を教えて頂きました。最先端の研究にも触れることができ大変勉強になり、携わってみたい研究を見つける事ができました。
- ◆ 試薬や実験器具の取り扱い、Excel や PowerPoint を使用してのデータ整理など、これまでの経験を今後また研究支援員として仕事に就く機会があればいかしていきたいと思えます。
- ◆ 自身の研究で活用できる技術が身につくとともに、その技術を向上させることができた。
- ◆ 標本作製など自分自身の研究にも役立つ技術を身につけたり、スキルを磨いたりすることができた。今後自分の実験を進めていくうえで非常にためになった。

- ◆ 免疫染色などの今後の自身の研究に必要な知識および技能を習得できた。
- ◆ 支援を必要としている学生への接し方を拝見し、私自身が支援する側になったことをイメージする大きなきっかけとなった。
- ◆ アンケートの結果の分析が自分の行う研究での分析と似ていたため、スムーズに仕事に取り掛かることができ、また統計を行う上での手技の理解・習得ができました。
- ◆ 様々な考え方などを学ぶことができ、労働しながら知識を吸収できるという、とてもいい経験になった。子育ての合間の時間を有効に活用できた。
- ◆ 先生のご専門と自身の専門に多少のずれがあるため、関係する幅広い資料・論文を収集したり、読む機会に恵まれた。自分は研究の現場も離れていた時間が長く、現在の研究のやり方等、大変参考になった。当方にとって大変勉強になり、今後のための視野が広がったように感じている。
- ◆ 自分の専門外の研究活動に触れることができ、今後の学業や進路選択に活かせる貴重な経験を得ることが出来た。また、今後、研究活動を行う上で、必要となるスキルや知識について考える良い機会となった。
- ◆ 育児と家事の合間でできる本制度による業務内容に満足しており、また以前から研究活動に対して興味があったので貴重な経験が出来た。

(2) ライフイベントとの両立支援

○英語論文セミナー

9月12日に米子キャンパス、10月19日に鳥取キャンパスにおいて、中山裕木子氏をお招きし「論文執筆のための技術英語」を開催した。例示文章が分野と異なったことが残念との昨年開催時の意見から、鳥取キャンパスでは工学系、生物・化学系、人文社会科学系及びその他一般の3つの分野に分けて実施。多くの方に受講いただき、好評であった。

案内チラシ

HP掲載

平成29年度 英語論文セミナー

論文執筆のための技術英語

今年も中山裕木子先生をお招きし、英語論文セミナーを開催いたします。今年度は分野をわけ、より専門性を高めた講義を行います。第1回目は医学分野です。ふるってご参加下さい。

日時：平成29年9月12日（火）
第1部 15：30～17：00
第2部 17：15～18：45
 ① どちらのクラスも同じ内容です。（各クラス定員40名程度）
 ② 出席が可能なクラスを指定してお申し込み下さい。
会場：会議室2（第二中央診療棟2階）
 ③ 米子キャンパスで行います。
 ④ 鳥取への中継はありません。ご了承下さい。

講師紹介 中山裕木子氏 株式会社ユー・イングリッシュ 代表取締役
 公益社団法人日本工業英語協会 専任講師

工業英検1級取得。文部科学大臣賞を受賞。公益社団法人日本工業英語協会の専任講師に就任し、大学や高専などの教育機関や企業で理工系研究者を対象とした技術英語、特許英語を数多く指導。

著書『技術系英文ライティング教本』
 『外国出願のための特許翻訳英文作成教本』
 『会議もメールも英語は3語で伝わります』

① 人数把握、資料準備のためできるだけ事前申込（9月1日まで）をお願いします。早急に定員に達したときは開日前に締め切りがありますのでご了承ください。

主催・申込・お問い合わせ先：男女共同参画推進室
 電話：内線2161、米子からは14-2161（担当：奥村）
 メール：danjo@ml.adm.torroti-u.ac.jp

英語論文セミナー（第1回目）を開催しました！

セミナー 2017.10.03

男女共同参画推進室では、9月12日（火）に、今年度第1回目の英語論文セミナーを開催しました。今年度は分野ごとにクラスを設定し、第1回目は米子キャンパスにおいて医学分野の講義を行いました。講師には今回も中山裕木子先生（株式会社ユー・イングリッシュ）をお招きしました。セミナーでは自分の言いたいことをわかりやすく的確に伝えるための英文手法について講義されたほか、参加者の英文をその場で添削していただき、実践的な内容となりました。参加者からは「自分の書いた英文の評価を聞けた」「実用的だった」「先生のお話が上手で聞きやすかった」などの意見が寄せられました。



講師の中山先生 セミナーの様子

※10月19日（木）には鳥取キャンパスで開催します！
 現在、第2部（生物・化学系）、第3部（人文社会系）のクラスに余裕がございます。
 参加をご希望の方は当までお問い合わせください。
 ☆問い合わせ先☆
 男女共同参画推進室（内線：2166、米子からは14-2166）
 メール：danjo@ml.adm.torroti-u.ac.jp

平成29年度英語論文セミナー

論文執筆のための技術英語

中山裕木子先生をお招きしての英語論文セミナー（第2回目）を開催します。ふるってご参加下さい。

日時：平成29年10月19日（木） *各クラスとも10名程度
第1部 13：00～14：30
第2部 14：40～16：10
第3部 16：20～17：50

会場：第一会議室（事務局棟3階）
 *鳥取キャンパスで行います。
 米子への中継はありません。ご了承下さい。

申込方法：今回は分野ごとに講義を行います。
 （工学系、生物・化学系、人文社会科学系及びその他一般）
 希望する分野を明記し、出席が可能な時間帯の部を指定してお申し込み下さい。
 （第1希望から第3希望まで指定していただいても結構です）
 希望人数の多い分野を優先して各部において講義する分野を決定し、後日、受講時間をご案内させていただきます。
 なお、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

*人数把握、資料準備のためできるだけ事前申込（10月2日まで）をお願いします。

講師紹介 中山裕木子氏 株式会社ユー・イングリッシュ代表取締役
 公益社団法人日本工業英語協会 専任講師

工業英検1級取得。文部科学大臣賞を受賞。公益社団法人日本工業英語協会の専任講師に就任し、大学や高専などの教育機関や企業で理工系研究者を対象とした技術英語、特許英語を数多く指導。

著書『技術系英文ライティング教本』
 『外国出願のための特許翻訳英文作成教本』
 『会議もメールも英語は3語で伝わります』

主催・申込・お問い合わせ先：男女共同参画推進室
 電話：(0852-41-5011)（内線2161）、米子からは14-2161
 メール：danjo@ml.adm.torroti-u.ac.jp

英語論文セミナー（第2回目）を開催しました！

セミナー 2017.10.25

9月12日（火）の米子キャンパスでの第1回目に引き続き、10月19日（木）に、第2回目の英語論文セミナーを鳥取キャンパスで開催しました。今回は分野別に3クラス（工学系、生物・化学系、人文社会系）にわけて講義を行いました。講師は第1回目と同じく、中山裕木子先生（株式会社ユー・イングリッシュ）です。セミナーでは、英文をよりわかりやすくシンプルに書くための技法について、日本語の文章にとらわれないこと、英単語を言い換えて語数を減らすことなどをお話しいただきました。参加者からは「短い時間で内容が濃かった」「英語の文章はかっこよく、複雑な表現ほどよいと思っていたが、今回のセミナーを通してできるだけシンプルな表現の方がよいことがわかって、とても参考になった」などの意見が寄せられました。



ページトップに戻る

(3) キャリアデザイン支援

○女子学生の研究機関見学会<県内企業>

県内企業を見学したいとの要望が多く寄せられたため、今年度は県内企業版を「地(知)の拠点大学による地方創生推進室」と共催、キャリアセンターに協力いただき実施した。幅広い学部から13名の学生が参加、お菓子の研究開発・製造・販売事業を行う寿製菓株式会社、システム開発・ネットワーク事業を行う株式会社ケイズ(いずれも米子市)を見学した。

案内チラシ

8

HP掲載

女子学生のための企業見学会（県内版）を開催しました！

平成29年6月1日、「女子学生のための企業見学会（県内版）」を行いました。

この見学会は、女性研究者の裾野拡大と女子学生のキャリアデザイン支援の一環として実施していますが、県内企業を見学したいとの要望が多く寄せられたため、今年度は県内企業版を企画しました。当日は幅広い学部から、13名の学生が参加しました。

なお、地（知）の拠点大学による地方創生推進室と共催、キャリアセンターに協力をいただいています。

午前中は、お菓子の研究開発・製造・販売事業を行っている寿製菓株式会社（米子市）を訪問しました。会社概要の説明を受け、お菓子の研究開発施設を見学しました。

午後は、システム開発・ネットワーク事業を行っている株式会社ケイズ（米子市）を訪問しました。会社概要および開発部門を見学しました。

どちらの企業においても、女性社員・研究員との交流を行い、活発な意見・質問が飛び交いました。第一線で活躍中の女性から生の声をうかがいました。企業見学だけでなく、働くということ、女性であることなど、自分のライフプランを考えるきっかけにしてもらうことも一つの目的であり、参加学生にとって、貴重な体験となったことと思います。御対応いただきました両社ならびにご協力・ご尽力いただきました皆様に御礼申し上げます。



寿製菓本社工場にて



交流会の様子



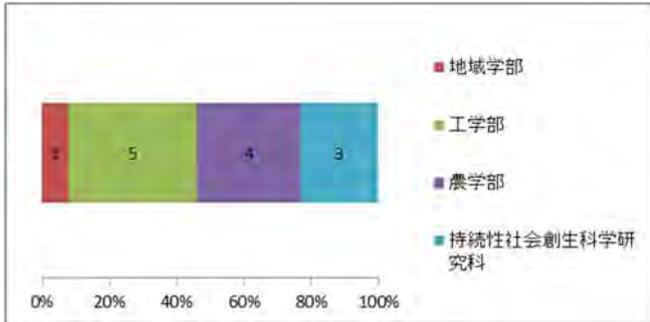
寿製菓本社前にて



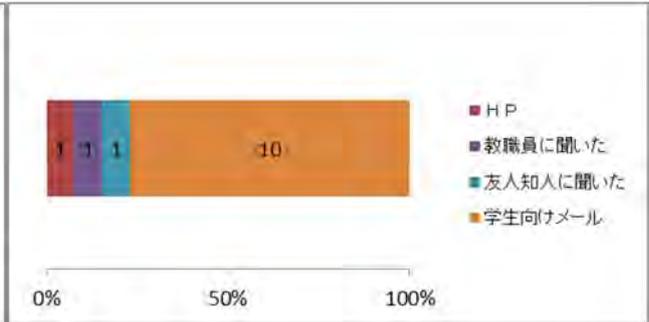
株式会社ケイズにて

<アンケート結果>

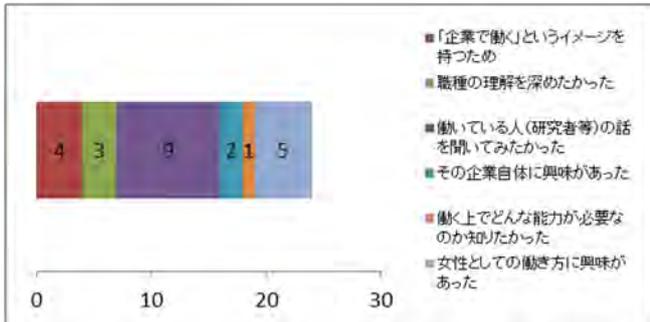
所属学部



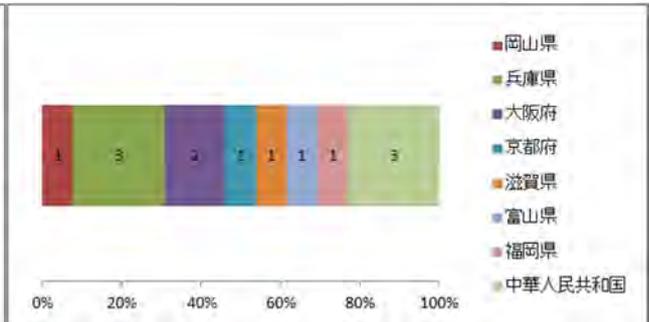
見学会を何で知ったか



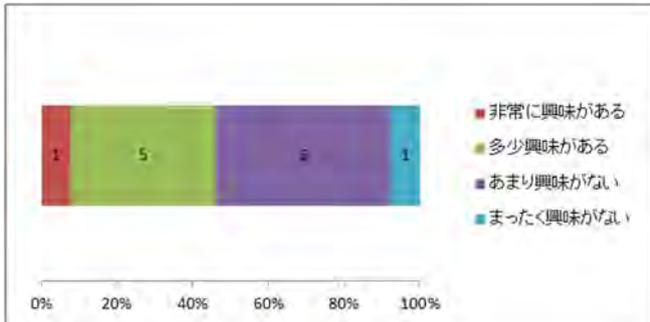
参加動機（複数回答）



出身



鳥取県内での就職について



<そのように回答した理由>

- ・鳥取の企業は小さくても、戦力があると思う。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・地域こそその地域性がある。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・私自身は大きな都市とか、大きな企業があまり好きではないから、このような中等の企業がいいと思う。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・以前は関西で考えていたが、鳥取でよい所が見つかればそこもいいかなと思っている。（農学部・3年）
- ・せっかく大学で鳥取に来たので、鳥取での就職も考えている。実家からも何かあれば親も来れるし、帰れる距離だから。（農学部・3年）
- ・奨学金の関係で、都市に出て大企業に勤めることで返済を続けるか、鳥取の奨学金返済保障制度で負担を減らしながら中小企業で働くかで迷っているため。（地域学部・2年）
- ・鳥取もいいところだなとは思っているが、大学進学を機に鳥取に来たのと同様、就職という転機にまた新しい地域でがんばりたいと思うから。（農学部・2年）

- ・地元に戻りたいので。（農学部・2年）
- ・地元に戻りたい。（工学部・2年）
- ・地元へ帰って就職したいという気持ちがあるから。（工学部・2年）
- ・地元の企業に就職しようと考えているから。（工学部・1年）
- ・地元での就職を考えているため。（工学部・2年）
- ・大学卒業後は地元に戻ろうと考えているから。（工学部・2年）

【アンケート自由記入欄】（抜粋）

●企業で働く女性、研究員、技術者に対するイメージ（面白そうなところ、やりがいなど）

- ・女性ならではの考えや発想が浮かんで、それが仕事に活かせること。（工学部・2年）
- ・女性ならではの考えを取り入れてもらえそう。（工学部・2年）
- ・専攻がITと関係がなくても働ける理由を、今勤めている人の例をとりあげて、説得力がある。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・朝行った企業（寿製菓）私たちが案内して、企業について説明したり、仕事について教えたりした「はるな」というお姉さんの他の人と交流する能力に感銘を受けた。誰に対しても笑顔で話していた。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・私自身は、人と交流することが苦手だから、そのお姉さんから学ぶべきことがたくさんあると思っている。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・寿製菓はとてもきれいだ。寿製菓やケイズの女性もいい仕事をしている。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・女性目線での商品開発やPRなどより視野が広げられる。（農学部・3年）
- ・女性ならではの目線を伝えることができそう。つきつめたいところまで研究できそう。（農学部・3年）
- ・休日に女性社員同士で飲み会などができて楽しそうだった。（農学部・2年）
- ・かっこいい、仕事＝趣味、やる気があれば男性と肩を並べて働ける点。（地域学部・2年）
- ・様々なことにチャレンジできそう。（農学部・2年）
- ・女性目線の企画や見方が提案できそう。（工学部・2年）
- ・自分の興味があることに対して研究でき、生き生きとお仕事をされているイメージ。（工学部・2年）
- ・働くこと自体がいろいろな仕事内容、プロジェクトがあってやりがいがありそうだ。（工学部・1年）

●企業で働く女性、研究員、技術者に対するイメージ（大変そうなところなど）

- ・育休などで仕事上迷惑をかけることがありそう、男女差別。（工学部・2年）
- ・まわりが男性ばかりだと慣れるまで大変そう。（工学部・2年）
- ・交流する時、みんな気になることはほぼ残業のことである。たしかに残業が多いなら特に女性の社員にとって大変である。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・立つと座る時間が長いと思う。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・子育ての両立、体力の差などで、やはり、女性は男性より働きにくいイメージ。（農学部・3年）
- ・男女比、子育てとの両立（農学部・3年）

- ・会社の理解がないと苦労しそう。（農学部・2年）
- ・忙しい中で化粧やボディケアも手を抜けないところ、パートナーを見つけるのに苦労しそうなところ（地域学部・2年）
- ・女性が少ない企業だと、男性の方々とのコミュニケーションを取るのが大変そう。（農学部・2年）
- ・男の人と多く接するのが大変そう。（工学部・2年）
- ・研究に行き詰まったりした時が大変そうなイメージ。（工学部・2年）
- ・給料、役職などの男女差、結婚、出産後に仕事を続けられるかどうか（工学部・1年）

●寿製菓を見学して感じたこと

〈研究所内や会社（業務内容など）について〉

- ・思っていたよりたくさんのお菓子を作っていて、大きな会社で驚いた。（工学部・2年）
- ・お菓子だけでなく、健康食品の開発にも取り組んでいることを知って、さらに興味を持てた。（工学部・2年）
- ・男女間の仲がよさそう。（工学部・2年）
- ・院卒と学部卒での就職の差はないと聞いて安心した。（工学部・2年）
- ・約350種類のお菓子を作っていることに驚いた。地域ごとに材料の配分を変えていることは知らなかった。いなばの白うさぎの目は、はじめ黒色だったことに驚いた。研究・開発の部門は男性4人、女性5人で男女比がほぼ同じだったので、女性も働きやすい企業だと思った。（工学部・2年）
- ・何年も経って、たくさんの人々が協力して、50才の「白うさぎ」というお菓子を生産するのに感動した。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・今鳥取に来る外国人はだんだん多くなって、それに伴って、鳥取を代表するお土産も買われるようになるはずである。でもお土産、たとえば「白うさぎ」はただの食べ物ではなく、食べ物の中に含まれる地域の文化も重要な文化財産と思う。これから「白うさぎ」を売る時、そばに外国語で白いうさぎの神話の大体の内容を書いたほうがいいと思う。日本の文化を宣伝しながら、企業の文化を尊重する魅力も表せると思う。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・普段、いつもお菓子を食べてばかりで、どうやって作るのか全然わかっていなかった。でも、今回の見学を通して、そんなに小さなお菓子を作るために、そんなに多くの従業員がそんなに長い時間かかって、努力していることを見て、本当に感動した。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・一つの仕事をする時、一つだけのものを知ること、仕事を上手にすることができない。いろいろな知識を身につければ上手にできる。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・実際に生産ラインの工場を見学することができ、米子の本社工場で製造されている品種に特に驚かされた。座談会ではどんなことでも聞きやすい雰囲気ですごく素敵だなと思った。（農学部・3年）
- ・ただお菓子を作って売ってただけじゃなく、他者とは違う戦略「その地域でしか買うことができないブランド」を貫いた企業の方針がとても素敵だなと思った。（工学部・2年）

〈研究員の方から受けた刺激など〉

- ・社員さんが皆明るい！ 寿製菓だけで350以上のお菓子を作っていることに驚いた。プライベートでも皆仲良くて、雰囲気が素敵だなと思った。（農学部・3年）

- ・社員さん同士の仲の良さや、研究に対しての会社の手厚いサポートがすごく感じられ、とても一生懸命ですばらしい企業だと思った。自分も寿製菓のようなあたたかい職場で働けるよう、これからの勉強や就職活動により力を入れたと感じた。（地域学部・2年）
- ・アットホームな雰囲気だなと感じた。研究者としてのキャリアアップができると思った（社会人入学など）。各部での連携がしっかり取れていて、やりがいを感じながら働いているんだろうなと思った。（農学部・2年）
- ・自分の個性を生かして働けることがわかった。社員の皆さんが生き生きと楽しんで働いていることがよくわかった。（工学部・2年）

〈会社の制度やキャリア支援について〉

- ・大学に社会人入学して研究できたり、社内開発ですぐには成果があがらない研究でも続けさせてもらえたりするのでとても研究に理解のある会社だと感じた。二週間、ずっと大学で研究させてもらえる会社はなかなかないだろう。また、寿製菓さんでは女性の転勤はほぼないということだったが、他の会社ではどうなのか、就職活動のときに知っておかないといけないなと思った。（工学部・1年）
- ・会社の雰囲気がとても良かった。定時に帰れたり、残業が少なかったり、社内の雰囲気がとても良かった。（農学部・2年）

●ケイズを見学して感じたこと

〈研究所内や会社（業務内容など）について〉

- ・いろんな分野の技術を持つ人たちが働く会社だということに驚いた。（工学部・2年）
- ・地域貢献もしっかりされていてすごいと思った。（工学部・2年）
- ・女性は少ないけど、どの女性も生き生き仕事をされていた。（工学部・2年）
- ・企業名を初めて聞いたけど、すごい企業ということを知り、これから注目してみたいと思った。（工学部・2年）
- ・コンピューター、ネットワークについての会社に持っている印象と同じで、働き環境がきれいである。午前中に見学した寿製菓とぜんぜん違う感じで、たぶんお客さんの情報を保護するため、会社は極秘基地みたい、ちょっと抑圧感があると思う。携帯で体から離れる物をコントロールするのはハイテクである。これは会社の理念「小さくても強大なメーカー」と一致して、感心である。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・ケイズで企業についての説明が終わってから、外を見に行った時、農業に使うつもりで作っている物を見て、本当に科学性が高いと思った。（持続性社会創生科学研究科・1年）
- ・会社全体が無駄がない感じでインターネットや情報の会社はすべてパソコンで仕事をするので、会社自体の大きさは関係ないのかなと思った。会社にも大学みたいにサークルがあることを知り驚いた。（農学部・3年）
- ・情報ってほんとうに重要なんだなあ……と思った。なのに、施設を見学させてもらえて、おもしろかった。ハウスの管理をスマホ一つでできるなんてとても驚いた。また、鳥大を卒業された方が多く、工学部以外でも働けるんだということを知った。（農学部・3年）
- ・IT企業のことについて何もわからなかったのが、今回の話は少し難しく感じたが、農業に関係するシステムの開発についての話は、今後の農業のあり方が大きく変化しそうだと感じ、おも

しろかった。(農学部・2年)

〈研究員の方から受けた刺激など〉

- ・性別は関係なく、いかに挑戦し続けられるかが、社会人として大切なのがよくわかった。そして、就職活動の際には、自分がぜひ入りたいと思えるほど、自分なりに魅力的な企業を見つけるか、または企業側にぜひ共に働きたいと思わせるほど魅力的な人材にならなければいけないと悟った。(地域学部・2年)
- ・様々な分野と合わせて働けることがわかった。全く関係のない分野を生かせることがわかった。(工学部・2年)

〈会社の制度やキャリア支援について〉

- ・IT系は電気系の学科を卒業した人ばかりだと思っていたけど、学部学科関係なく様々な学部学科の人が働いていた。育休の制度もしっかりしていて女性が働きやすい企業だと思った。わからないことはわかるまで聞くことが大切だと思った。(工学部・2年)
- ・部活があっぴゅりした。旅行や遠足があったりして楽しそうだった。(農学部・2年)
- ・社員旅行や育休制度などの福利厚生についても詳しく説明していただき、直接消費者の目にはあまり触れることのない企業のお話を聞くことができ、こんなことをしてくれる会社があるから、今の生活が便利なんだと改めて気づいた。(工学部・2年)
- ・給与や勤務時間は紙面上でもわかるが、職場や人の雰囲気は自分の目で見ないとわからないという言葉に、確かにそうだと納得した。企業見学やOBさんの話を聞くなどして会社の内情を知ろうと思う。残業が増える時期があるのはIT業界では仕方のないことだが、その対応策がしっかりとしている企業を選びたい。(工学部・1年)

●参考になった点、良かった点

〈女性研究者との交流(研究者の生の声、結婚出産育児など)〉

- ・社員達の自分の仕事を愛する、自分の仕事を尊敬する、また、本当にその仕事が好きだからしているといった精神、行為が心に深く残った。(持続性社会創生科学研究科・1年)
- ・女性社員の方のお話を聞いた点。(農学部・3年)
- ・色々なことを聞いた点。見学に行けた点。(農学部・2年)
- ・企業の方々の手厚い歓迎のおかげで、2つの企業がどんな所かだけでなく、中で働く人々の関係性や生き方まで深く知ることができた点。(地域学部・2年)
- ・実際に働いている女性社員の方の話を聞いたこと。(農学部・2年)
- ・どのようなことをするのかなど具体的にわかって、働くイメージや女性の職場のイメージがわいた。(工学部・2年)
- ・実際に、働いている現場を見ることができ、普段なら知ることのない話も聞くことができた点。(工学部・2年)
- ・女性社員からの話が聞いたことが良かった。自分が社会人になったときのイメージが強く持てるようになり、また、それに向かって自分が何をしたいかなんとなくつかめた。(工学部・1年)

〈年齢の近い研究者との交流〉

- ・大学院を卒業されて就職された年の近い社員さんの話を聞いたことがとてもよかった。実際に働きだ

- してからと働く前の、働くということの印象について多くの意見を聞くことができた。(工・4年)
- ・新卒1年目の女性職員の方とたっぷりお話できる機会があったこと。(工・2年)
- ・新卒で今、社会人一年目の方や、働くお母さんでかつ幹部クラスの人の話をたくさん聞くことができ
てよかった。(工・4年)

〈企業の事業について〉

- ・鳥大卒の方がおられた。企業のことをよく知れた。(工学部・2年)
- ・自分が興味のある研究・開発に実際に携わっている方の話を聞けたこと。工場や企業の施設を見学で
きたこと。(工学部・2年)
- ・IT企業に興味を持つことができた。(今までまったく知らなかったので……)(農学部・3年)

●女子学生とどのような情報交換や交流ができれば良いと思うか

〈学生同士、卒業生の話す場・交流・友人作りについて〉

- ・他の女子大学を見学したらいいと思っている。(持続性社会創生科学研究科・1年)
- ・仲良くなりたい。(持続性社会創生科学研究科・1年)
- ・同じ学部の子とあまり話したりしないので、他学部の人との交流ができればいいなと思う。(農学
部・3年)
- ・多くの分野や自分の学科に近い内容の情報交換がしたい。(工学部・2年)
- ・もう少し、他の参加者の方と仲良くなりたかった。(工学部・2年)
- ・他学部、他学科がどんなことを学んでいるのか知ってみたい。そして、他学部の人と友達になりたい。
(工学部・1年)

〈就職先や就職活動、進学について〉

- ・同じ学科の先輩などから、就活のことなどいろいろ聞く機会がほしい。(工学部・2年)
- ・自分の希望の職種や向いている仕事をどのように見つけるかという話し合いができれば良い。(地域
学部・2年)

●他に見学してみたい企業

- ・薬品会社、化粧品会社など(工学部・2年)
- ・地元(岡山)の化学系の企業。化粧品の企業。(工学部・2年)
- ・農業(持続性社会創生科学研究科・1年)
- ・鳥取県内の食品会社(農学部・3年)
- ・食品系、農薬・菌種系(農学部・3年)
- ・大阪の会社(農学部・2年)
- ・JFE鋼板(地域学部・2年)
- ・食品関係の企業。特に、研究職や食品の衛生、品質管理についての話を聞きたい。(農学部・2年)
- ・土木関係の会社。あまりわからないから見学してみたい。(工学部・2年)
- ・航空会社、自動車会社(工学部・2年)

○女子学生の研究機関見学会<関西企業>

平成24年度より、女性研究者の裾野拡大と女子学生のキャリアデザイン支援の一環として、キャリアセンターに協力いただき実施。今年度は17名が参加、オムロン株式会社（京都府）と小林製薬株式会社（大阪府）の2社を見学した。

案内チラシ

女子学生のための企業見学会
☆2017 大阪・京都編☆
参加者募集！

平成29年9月20日～21日 ～1泊2日バスの旅～

☆オムロン京阪奈イノベーションセンター
(けいはんな学研都市)

☆小林製薬中央研究所 (大阪府茨木市)

***見学だけではなく、女性研究者・技術者との交流会も開催予定！**

 対象：本学の女子学生・女子大学院生（分野学年は問いません）で、事前説明会に参加可能な方
*事前説明会は7月24日頃を予定しています。
*米子地区からの参加者の方には別途説明を行います。
*移動は貸し切りバスです。
米子キャンパスを発着地として鳥取キャンパスを経由します。

 定員：20名（先着順） *申込多数の場合、初参加の方を優先します。

 申込締切：平成29年7月14日（金）午後5時必着

 参加費：宿泊・交通費は無料ですが、食事代として実費を負担いただきます。

 申込方法（所定の申込書を必ず提出してください）
①下記のアドレスへ申込書をメール添付
danjyo@ml.adm.tottori-u.ac.jp（男女共同参画推進室）
②キャリアセンターへ申込書を持参
申込書はキャリアセンターにも置いてあります。

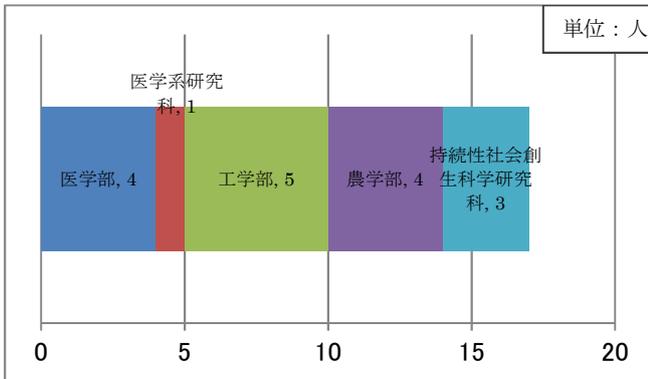
企業で働く女性の声を聞ける貴重な機会です。気軽に参加してね！



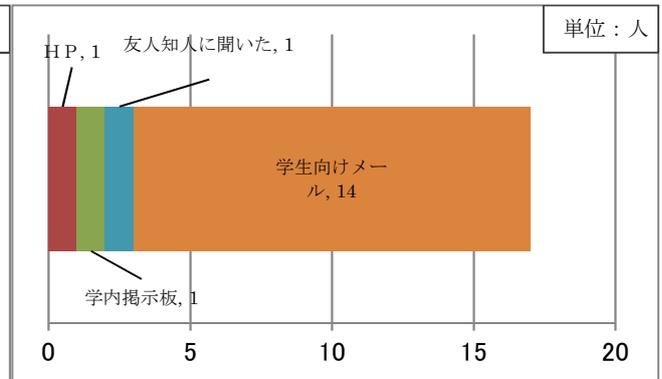
主催・お問い合わせ先： 男女共同参画推進室（電話 0857-31-5013）
協力：キャリアセンター

<アンケート結果>

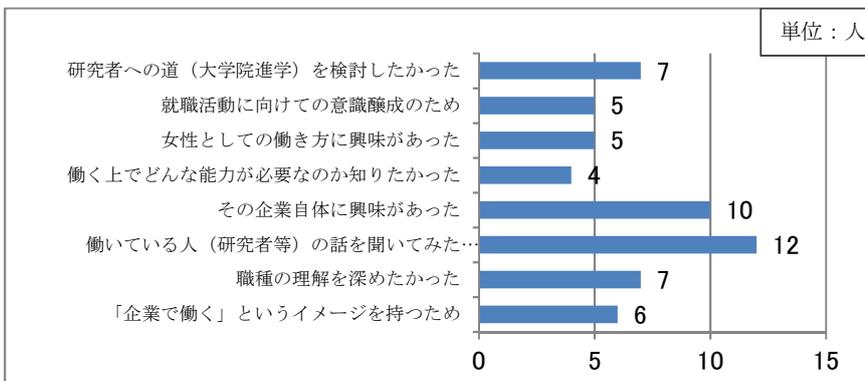
所属学部



見学会を何で知ったか



参加動機（複数回答）



【アンケート自由記入欄】（抜粋）

●企業で働く女性、研究員、技術者に対するイメージ（面白そうなところ、やりがいなど）

- ・理系でまじめに取り組む感じのイメージ（医学部・3年）
- ・自分の考えやアイデアなどが、実際商品となって社会に出るところ。（工学部・3年他）
- ・自分のやりたい研究ができる。最先端の知識に触れることができる。（工学部・1年他）
- ・一人の社会人として社会に貢献できる。いつまでも追求心を持ち続けられる。（医学部・3年他）

●企業で働く女性、研究員、技術者に対するイメージ（大変そうなところなど）

- ・結婚・出産・育児と仕事の両立が難しい（農学部・3年他）
- ・企業で研究するためには、その企業の方針に従わなければならないので、やりたい研究ができるとは限らないところ。（工学部・3年他）
- ・仕事が忙しく、休みがなさそう（農学部・1年）
- ・いわゆる、社会が因習的に求める女性の生き方とは外れること。（工学部・2年）

●オムロンを見学して感じたこと

- ・健康・医療系のイメージが強かったが、それは1割程度に過ぎず、工場系がメインだと知って驚いた。

女性が働きやすいように色々なサポートをしていて、社員のことを考えてくれている会社だなと感じた。(医学系研究科・1年)

- ・人と機械のありかたを学んだ。表情を認識したり、卓球の球を認識したりとてもすごいと思った。自動運転がこのような方が研究しているとわかり感激した。私が就活するうえで、福利厚生も大事だと思うけど、やはり自分がやりたいことを明確にして探そうと思った。(工学部・3年)
- ・施設については大部屋方式のオフィスであることが魅力的だった。部門間の隔たりが感じられないため仕事をする上で良さそうだった。(工学部・3年)
- ・研究員・技術者というと男性が多いイメージを持っていたため、女性は肩身が狭そうだと思っていたが、今まで男性中心だった社会で女性目線のニーズは重要であり、メリットでしかないと聞いて、企業で働く女性に対してのイメージが少し変わった。(農学部・1年)
- ・実際に、女性研究者として働いている方々の話を聞いたのは初めてだったので、とても良い経験となった。結婚や出産など、女性として気になるプライベートな部分も、私たちに話してくださって、とても有難かった。「不安要素よりも、やりたいことを第一に。その他はなんとかなる」という言葉にとっても励まされた。やっぱり「好きな仕事をする」ということが大切だと感じた。(工学部・3年)
- ・ガラス張りの開放的な空間が明るく、良い社内で、こんな空間で働きたいと思った。研究者に男女の差異はないこと、自分が興味・意気込みをもって取り組めばやっていけそうだなと感じることができ、またそこが重要だとわかった。オムロン製品というと体温計などのヘルスケア商品がまず始めに思いついたが、それ以外でも生活に身近に関わっていること、また技術を使っていることがわかり、メーカーならではのおもしろさを体感できた。(農学部・3年)
- ・一番驚いたことは研究者になれるのはほんの一部しかないということである。今まで私は企業について全く知らなかったので将来研究者になりたいなと軽く考えてしまっていたところがあった。しかし今回の見学を通してまだ少し先のこともかもしれないが、将来についてしっかりと考えていきたいと思った。(農学部・1年)
- ・境界(事業部間、部署間)がないことが印象的であった。「モノづくり」ということがメインであるためか、基礎研究はほぼなく、応用研究が中心だ、との発言をいただいた。企業の研究を知る上でも、方針を知る上でも、このような発言はありがたかった(自分の進みたい方向に関係なく)。(工学部・2年)

●小林製薬を見学して感じたこと

- ・社員さんが明るくて、楽しい雰囲気のが良さが伝わった。1者が1商品を担当している分、商品に対する愛情を感じた。(医学系研究科・1年)
- ・8人の女性の研究・開発分野に携わっている人の話を聞いた。大学では何を研究していたかを聞いてみると、ほとんどが生物系の出身であり、自身の研究していたこととは全く関係がない研究をしているという。短い間で商品を作り上げるという行為にはスケジュール管理が大切であり、これらは学生時代に培ったという。どういった工夫をしているかと聞いてみると、人に期限を宣言している・一日のタイムスケジュールを事細かに書くなどであった。大学では自分の興味があることを時間をかけてとことんやるといいとも聞いたので、時間のある今だからこそ、自分の好きなことは何か、やりたいことは何かなど自分のことを知っていききたいと思う。そうすることがなによりも自分の将来のために

なると学ぶことができた。(工学部・1年)

- ・自分が知っている製品がたくさんあり、感動した。CMやお店で見る商品がたくさん会社に置いてありとても興味を持てた。製品を作るのにたくさんの方が活躍しており、研究所内の様子を見せていただき自分がこの場に立ち会っていることに不思議な感じがした。就活するときに今日聞いたアドバイスをしっかり思い出したい。(工学部・3年)
- ・第一に、とても明るく和気藹々とした、居心地のよさそうな職場だと感じた。今大学で勉強している内容とも近く、とても楽しみだったが、予想以上に研究者の方々の話をたくさん聞いた。どのような商品をどれくらいのスパンで開発するかなど、実際に企業に入ってみないとわからないようなことも細かく教えていただけたので、とても有難かったと勉強になった。(工学部・3年)
- ・どの社員の方も親切に、かつ楽しそうに自分の担当の仕事を話してくださり、難しいと言いつつも本当に楽しんで仕事をされているのだなと思った。アイデアが思い浮かばないとき、採用されなかったときはきつそうなイメージがあったが、逆に自分の意見が通ること自体がとても風通しの良い社風を表しており、自分のやりがい、責任感につながっているのだと思った。女性でも産休を挟んだからといって戦力外にされることなく働く(戻ってくる)場所が同じで、産休前と同じように働けるといいうのが魅力的だった。個人個人で担当商品が振り分けられているように見え、それだけ一人一人を信頼しており、成果を委ねられていると感じた。製品となったときの喜びは他の企業では味わえないものだろうと思った。(農学部・3年)
- ・一般向けの製薬企業だったので、基礎研究よりも開発が多く行われていて、想像していた製薬企業とは違っていた。開発のスパンが短いことに驚いた。いろんな事業をやっているのも、いっぺんに複数部門の研究について聞いたのがよかった。(医学部・3年)
- ・自分が思っていたよりも女性の方が多くて驚いた。消臭元など有名な商品を女性の方が担当されていて、女性がトップに立って活動しているのがかっこいいなと思った。(工学部・2年)
- ・個人のアイデアをととても重視している企業だと感じた。普段は見ることができない研究・開発の様子が見られて、非常に良い刺激を受けた。今回は、応用もしくは実用段階の研究職の方の仕事の紹介、座談会だったが、基礎研究の方の研究職のことについても次回このような企画があれば、聞きたい。(工学部・2年)

●他に見学してみたい企業

- 1) 飲料、食品：明治、サントリー、伊藤ハムグループ
- 2) 医療品、医薬品：武田薬品、健栄製薬、大正製薬、ロート製薬、アステラス製薬
- 3) 電気・情報・通信機器：メルカリ、NTT
- 4) インフラ：大阪市交通局
- 5) 化学、化粧品：CANMAKE、資生堂、白石グループ、ピアス化粧品
- 6) 自動車・機械：トヨタ
- 7) 建設：近畿測量株式会社

(4) 意識啓発活動など

OLGBTセミナー

「男女共同参画週間」の企画として、6月29日にLGBTセミナーを開催した。LGBTの啓発活動を積極的に行っている学内公認サークル「虹色らくだ」の部員に「多様なセクシュアリティについて、みんなで考えよう」と題して講演いただき、17名の参加があった。

案内チラシ

HP掲載

参加 無料

平成29年度男女共同参画週間関連イベント

自分らしく生きていこう!

私には何が出来るかな?

LGBTセミナー
「多様なセクシュアリティについて、みんなで一緒に考えよう!!!」

日時: 6月29日(木) 16:30~18:00
場所: 鳥取会場 広報センタースペースC
米子会場 TV会議室(第二中央診療棟3階) * LAN中継
対象: 本学教職員および学生
講師: サークル 虹色らくだ
申込: 下記、お問い合わせ先までお申し込みください。
なお、人数把握のため、なるべく事前のお申し込みをお願いします。
(当日参加も可能)
申込締切は6月16日(金)です。

主催・お問い合わせ: 男女共同参画推進室(人事課人事総務係)
電話: 0857-31-5013
E-mail: danjyo@ml.adm.tottori-u.ac.jp

男女共同参画週間は毎年6月23日から29日の一週間です

LGBTセミナーを開催しました!

セミナー 2017.07.11

6月29日に、LGBTセミナーを開催しました。講師に、サークル「虹色らくだ」の学生を招き、「多様なセクシュアリティについて知ろう」と題して講演をいただきました。LGBTに関する基礎知識、セクシュアリティとはわかれるものではなくグラデーションである、などの話、そして「自分を、まわりの人を、大切にしよう!」という考えを持ってほしいと最後に講師から伝えられました。

当日は鳥取・米子地区あわせて17名の参加がありました。アンケートでは、「LGBTについてよくわかった」、「このテーマについてもっと広め、周囲に理解を求めてもらいたい」という参加者からの意見が寄せられました。

記事はコチラからごらんになれます。

講演の様子

LGBTへの理解を示す冊子等(ラップ(会場に設置))

ODVセミナー

「男女共同参画週間」の企画として、6月20日に川西寿美子氏を講師に迎え、「その恋愛だいじょうぶ? デートDVを知る ~被害者にも加害者にもならないために~」と題しDVセミナーを開催し、15名の参加があった。

案内チラシ

HP掲載

参加 無料

平成29年度 男女共同参画週間関連イベント

その恋愛大丈夫? デートDVを知る

~被害者にも加害者にもならないために~

近年、DV(ドメスティック・バイオレンス)にあつた女性への被害は増加の一途です。配偶者だけでなく、カップルの間でもDVに陥るケースが増えています。「DVとはなんなのかな?」、「どのような行為がDVなのかな?」、「もし自分が被害者になったらどうしよう?」DVについてよく知ると、被害者・加害者にならないための知識を身につけましょう。

講師紹介 川西 寿美子氏(大阪私立学校人権教育研究会) NPO法人アカデミックハラスメントをなくすネットワーク(NAAH)理事、電子機器関係会社勤務、管理薬剤師勤務を経て私立高等学校理科(生物・地学・環境)教師(〜2005年)、人権教育委員長、学校薬剤師、生徒・保護者相談、セクシュアル・ハラスメント相談員。現在、大阪私立学校人権教育研究会指導員(主にジェンダー教育・相談)を勤めるほか、様々な学校・団体においてセクシュアリティ・ジェンダーに関する活動を行っている。

日時: 平成29年6月20日(火) 16時30分~18時
*セミナーの前後に、「鳥取県性暴力被害者支援協議会」からの情報提供があります。

場所: 鳥取キャンパス 広報センター スペースC
米子キャンパス 共用会議室2(LAN中継)

対象: 本学の教職員および学生
申込: 下記お問い合わせ先までお申し込み下さい。
申込締切は6月9日(金)です。
*当日参加もできますが、人数把握のため、できるだけ事前のお申し込みをお願いします。

主催・お問い合わせ: 男女共同参画推進室(人事課人事総務係)
電話: 0857-31-5013
E-mail: danjyo@ml.adm.tottori-u.ac.jp

男女共同参画週間は毎年6月23日から29日までの一週間です

DVセミナーを開催しました!

セミナー 2017.07.10

6月20日(火)にDVセミナーを開催しました。

DVに関するセミナーは今年度が初めてです。講師に川西寿美子先生(大阪私立学校人権教育研究会)をお招きし、「その恋愛だいじょうぶ? デートDVを知る ~被害者にも加害者にもならないために~」と題してお話をいただきました。デートDVの概略、DVの当事者になったときにはどうすればよいか、具体的な事例を挙げることによって両面が気づくことも大事であるという啓発もお話の中で行われました。

当日は鳥取・米子地区あわせて15名の参加がありました。またアンケートでは、「DVについて今まで間違っていたことがあった」、「自分の意見を他人に押しつけけないことが大事であるということを学んだ」という参加者からの意見が寄せられました。

記事についてはコチラからごらんになれます。

講演会の様子

○コミュニケーションセミナー

12月5日に鳥居佳子氏を講師に迎え、「男女脳差理解によるダイバーシティ・コミュニケーション」と題し、開催した。男女の脳の違いを知ることで、コミュニケーションを円滑にすることを学んだ。8名の参加があった。

案内チラシ

平成29年度 コミュニケーションセミナー

男女のコミュニケーションの違いを知ろう

男女脳差理解によるダイバーシティ・コミュニケーション

「自分と違う人」に「自分の強み」を「男性と接するとき、感じたことはありませんか？」

普段私たちが関わっているコミュニケーションの中で、**男女の差によるもの**が多く含まれています。目線、なんとなく感じている男女の心の違いについて学びましょう。

日時：平成29年12月5日(火)15時～16時30分
会場：共通教育棟A棟3階第一会議室
(米子はLAN中継にて、病院TV会議室)
対象：本学教職員(男性教職員のご参加を歓迎します)
申込締切：平成29年11月27日(月)
※鳥取・米子あわせて先着25名限定です。
参加をご希望の方はお早めにお申し込みください。

講師：鳥居 佳子氏
 Attractive ONE代表/ライフスタイル・ウーマン講師

ドイツ系総合商社、大手生命保険会社サポート部門を経て、教育現場でキャリアコンサルタントとして仕事に携わる。高校、大学の学生や保護者にキャリア講座や授業、就職相談やサポート、指導、面接練習などの支援を行うほか、企業研修でも、座学と実習を交えて、わかりやすく、身につく研修を実施。

主催：お問い合わせ 男女共同参画推進室(内線：2166、米子からは14-2166)
 メール：danjo@mladm.tottori-u.ac.jp

HP掲載

コミュニケーションセミナーを開催しました！

2017.12.13

コミュニケーションセミナー
 『男女脳差理解によるダイバーシティ・コミュニケーション』を開催しました。

12月5日(火)に、株式会社ライフスタイル・ウーマンの講師で、Attractive ONEの代表である鳥居佳子氏をお迎えし、ライフプランセミナー(人生設計) コミュニケーションセミナー『男女脳差理解によるダイバーシティ・コミュニケーション』を開催しました。

セミナーは、目線や視線において、コミュニケーションがとりづらいと感じることについて、男女の脳の違いにより個性が異なることから、良かれと思っただけで悪目に出るケースがあることを、事例を交え説明頂きました。

受講者からは、「違いを許容する、そしてそれをプラスにすることの大事さを再認識した」「自分自身の感じ方、思考方法をふり返ることができた」との声が寄せられました。

○ライフプランセミナー(人生設計)

住宅資金、教育資金等今後必要となる資金を明確にし、将来のための蓄えと備えを考え、それに対するキャリアプランを明確にするための一助となることを目的として、鳥取県福祉保健部による講師派遣を受け、鳥取地区で11月8日に開催(21名参加)、米子地区で11月14日に開催(16名参加)した。

案内チラシ

平成29年度 ライフプラン(人生設計)セミナー(鳥取県委託事業)

これからお金がどれだけかかるの？
 将来のための蓄えと備えについて考えましょう！

ライフプランと家計管理術

参加無料

教育費と住宅費、生涯の合計は？
 病気や事故のときの備えは？
 老後にかかるお金を知りたい！

講師紹介
伊木 恭彦氏(株式会社FPブレン 代表取締役、ファイナンシャルプランナー)
 銀行員、外資系生命保険会社等の経験を活かし、平成21年に株式会社FPブレンを立ち、現在まで個人相談業務と、200名以上、有資格、大学・高校・企業などでの講演業務1200名程、その経験を活かし、知った層のみな様の将来を、実例を交えて、「地域密着型」に学生や保護者・企業職員の皆様へお話し、子育て支援、後継りたる収入支援などに高レベルのライフプラン策について講義している。

日程 平成29年11月8日(水)
 時間 15:00～16:30
 場所 共通教育棟 A棟3階第1会議室
 対象 本学の教職員(県庁40歳以上の方)

主催：お問い合わせ 男女共同参画推進室 TEL: 0857-31-5769
 メール: danjo@mladm.tottori-u.ac.jp

HP掲載

ライフプランセミナー(人生設計・鳥取地区)を開催しました！

2017.11.14

『ライフプランと家計管理術』セミナーを開催しました。

11月8日(水)に、FPブレンの代表取締役でありファイナンシャルプランナーの伊木恭彦氏をお迎えし、ライフプランセミナー(人生設計)『ライフプランと家計管理術』を開催しました。伊木氏は、本学における「地域就業講座」にて、学生を対象に講義を行っていらっしゃいますが、今回は鳥取県の委託事業として教職員を対象に、将来安心に暮らすための人生設計を考えて頂くためにお話ししたものです。

セミナーは、鳥取県の県民性がらくる貯蓄、保険など全体的な視点や、伊木氏自身のご経験をふまえたウィットにとんだ軽妙な語り口に引込まれ、90分間があっという間に過ぎました。

受講者からは、「具体的な例をあげられて、理解しやすかった」「お金と教育の大切さを改めて感じました」と満足度が高く、また、もっと詳しく知りたい内容として「老後の生活費」や「教育費」があがっており、「続きもぜひとも聞かせていただきたい」など再度の開催を求める声がありました。

本セミナーは米子地区においても11月20日(月)に開催しますので、是非ご参加ください。

案内チラシ

平成29年度 ライフプラン（人生設計）セミナー（鳥取県委託事業） **参加無料**

ライフプランと家計管理術

こんなお悩みにお答えします！！

教育や住宅、
生進でいくら
かかるの？

病気、事故、
万一のときは
どう備える？

これから老後！
お金はいくら
あればいいの？

日時 平成29年11月20日(月) 15:00～16:30

会場 第二中央診療棟2階 会議室3

対象 本学の教職員

講師 小田 敬令氏（サポートon代表）

講師紹介
損害保険会社の研修社員を経て、保険代理店サポートon 開業。
2010年6月 2級ファイナンシャル・プランニング技能士試験合格、
日本FP協会認定AFP登録。
2015年11月 社会保険労務士試験合格。
現在、損保ジャパン日本興亜(株)・損保ジャパンひまわり生命(株)・第一生命
保険(株)代理店、小田敬令社会保険労務士事務所開業。

主催：おひらき
男女共同参画推進室
danjyo@ml.adm.tottori-u.ac.jp
0857-31-5769（内線：2166、米子からは14-2166）

HP掲載

ライフプランセミナー（人生設計・米子地区）を開催しました！

2017.12.04

ライフプランセミナー（人生設計）
『ライフプランと家計管理術』セミナーを開催しました。

11月8日の鳥取キャンパスでの開催に続き、11月20日(月)に、サポートon代表で、ファイナンシャルプランナー、社会保険労務士の小田敬令氏をお迎えし、ライフプランセミナー（人生設計）『ライフプランと家計管理術』を米子キャンパスで開催しました。本セミナーは鳥取県の委託事業として、教職員を対象に、将来安心に暮らすための人生設計を考えて頂くために開催したものです。

セミナーは、予の受講より贈きたいことをとヤリンプし、それに即答する形で行われました。また、ライフイベント表を用い、今後の人生におけるライフイベントを想定し、必要となる金額を書き入れ、収入と支出の関係を将来にわたり考えました。

受講者からは「ライフイベント表を活用していきたい」「家計管理の重要性を感じた」「考えるチャンスとなった」との声が寄せられました。



○ライフプランセミナー＜妊娠・出産＞

風紋祭中の10月8日に、鳥取県東部不妊専門相談センターと男女共同参画推進室が主催、鳥取県男女共同参画センターよりん彩の協力を得て、男女共同参画に関するパネル展示と、知っておきたい『キャリアプランと妊娠・出産のタイミングについて』のミニレクチャーを三回実施した。妊娠適齢期、キャリアプランと妊娠・出産のタイミングについては、継続して学生への啓蒙が必要。

2017 風紋祭

知っておきたい

「キャリアプランと妊娠・出産のタイミングについて」

自分らしく生きるために
ライフスタイル、
ライフプラン
考えてみませんか？

10月8日

10:00～17:00 学生会館2階小集室4

内容
・女性のから行っている正しい知識
・妊娠適齢期について
・キャリアプランと妊娠・出産のタイミングについて
・産後ケアと就業
・男女共同参画に関するパネル展示

時間帯
11時～、13時～、15時～
それぞれ30分程度のミニレクチャーをします

講師
渡本万恵子
鳥取県東部不妊専門相談センター 不妊症看護認定看護師

〒7 鳥取大学 男女共同参画推進室 〒7 鳥取県男女共同参画センター よりん彩
鳥取県東部不妊専門相談センター

TEL 0857-31-5769 (鳥取大学 男女共同参画推進室) TEL danjyo@ml.adm.tottori-u.ac.jp
TEL 0857-20-0271 (鳥取県男女共同参画推進室) TEL futonaka@center.tottori.ac.jp
鳥取県東部不妊専門相談センター

ライフプランセミナーを開催しました！

2017.10.18

鳥取大学で開催した10月8日(月)に、鳥取県東部不妊専門相談センターと男女共同参画推進室が主催、鳥取県男女共同参画センターよりん彩の協力を得て、男女共同参画に関するパネル展示と、知っておきたい『キャリアプランと妊娠・出産のタイミングについて』のミニレクチャーを三回実施しました。

ミニレクチャーでは、鳥取県東部不妊専門相談センターの認定看護師より、女性のからだについての正しい知識、妊娠適齢期、キャリアプランと妊娠・出産のタイミングについて、お話し頂きました。『キャリアプランも重要であるが、自身の将来と子どもの将来、育児と働きの両立などダブルケアになる場合もあり、ライフプランを考える必要がある』という言葉を、熱心に聞き取っていました。



「パネル展示は、男女共同参画について新しく学べるようなクイズ形式になっており、「自分にはあまりふられることのない目で興味があった」「現実的に考えることができた」と好評でした。



(4) その他

○休憩室&相談室の開設

男女共同参画推進室内に【休憩室&相談室】を9月1日に開設。

【休憩室】は、勤務中の体調不良や妊娠・産後等で気分のすぐれない方の休憩場所や搾乳室として、【相談室】は、研究活動や仕事と、育児や介護との両立をする上での不安や悩み等を相談できる場とした。搾乳時の利用や、研究やライフイベントとの両立に関する相談などがあつた。



2月1日には、休憩室でのDVD視聴と、DVD&書籍の貸し出しを開始。

DVDは、セクハラ、マタニティハラスメントに関することや、産休・育休の基礎知識など、当該者だけでなく、周囲の方の啓発として活用できることを目的とした。また、ワークライフバランス、ダイバーシティ、育児・介護に関する書籍も購入、貸し出しを開始した。



8. ニュースレター

鳥取大学男女共同参画推進室便り

Pear Pair 通信 第17号

2017年4月28日

●お知らせ 一年度が替わりましてー

4月になり、新年度がスタートしました。男女共同参画推進室の遠谷准教授は3月末で転出いたしました。男女共同参画推進室の活動・事業は今年度も続けてまいりますので、よろしくお願いたします。なお、後任が着任するまでの間、現在の当室の窓口機能が人事課人事総務部に移転いたします。今号の最後に掲載いたしましたので、ご確認ください。

また今号から新コーナーがはじまります。本学で活躍する女性教職員のかたがたにお話を伺います。

●活動報告1 平成28年度活動報告書ができましたー

平成28年度の活動をまとめた「平成28年度男女共同参画推進室活動報告書」が完成しました。当室が昨年度、どのような活動をしたかを皆様にお知らせいたしました。男女共同参画推進室のホームページに掲載しておりますのでご一読ください。なお、ご意見・ご感想、こんな事業してほしいという要望などございましたら、男女共同参画推進室までぜひ声を寄せてください。今後の活動の参考とさせていただきます。

●活動報告2 英語論文セミナー（2回目）を開催しましたー

皆様のご要望にお応えして、平成29年2月28日に英語論文セミナーの第2回目を開催いたしました。講師には前回と同じく中山裕木子先生をお迎えし、実践的な内容を教えていただきました。当日は鳥取・米子地区あわせて36名の参加がありました。大変活気に溢れたセミナーとなりました。詳細はホームページをご覧ください。

●活動報告3 研究支援員制度利用者の声を掲載しましたー

研究支援員制度利用者の声（第7期）をホームページに掲載しました。支援員制度を利用された先生が、また、研究支援員として実際に活動されたかたの生の声をまとめていますのでご一読ください。なお、第8期の募集はすでに終了していますが、新たにライフイベント（出産、育児、介護等）が発生し、研究困難になられたかたにはご相談に応じます。お困りのかたは当室へご連絡ください。

●【この人に聞く！】

徳務企画部企画課併任の事務職員としてお仕事を頑張っています。この春、育児休業から復帰しました。仕事と子育ての両立を支援する制度「育児時間」を利用して、1日6時間の短時間勤務で働いています。共働きで核家族の私には大変ありがたい制度で、職場の理解とサポートのおかげで、日々の生活を送ることができています。

子供たちは、春に訪れた庭に来る小鳥や虫たちに興味津々。「だんごむらさちにもお目々あるのね？」日々の小さな発見に喜びを感じています。

マイブーム：山鹿の民芸品や食材さがし
得意なこと：おにぎり作り
お気に入り：彩のお弁当箱、コットン100
たからもの：3歳の息子、1歳の娘

※新コーナーです！ よりよい職場環境を実現するため、本学で活躍する女性教職員の生の声をお伝えしていきます。2週間の掲載を予定しています。

●お役立ち情報 男女共同参画に関する資料を貸し出します

男女共同参画推進室では、男女共同参画に関する資料を貸し出しております。このたび、新たに書籍とDVDを購入いたしました。既存の資料とあわせてご利用いただけます。資料のリスト、貸出の手続きについては、近日常に男女共同参画推進室のホームページにてお知らせいたします。

貸出資料の一覧です。たくさんご利用をお待ちしています！

●ご要望・ご相談など下記までお寄せください

〒690-8501 鳥取市山鹿町南4丁目101
*連絡先は以下に移転しました！
(赤字が変更箇所)
人事課人事総務部（事務総務3階）
TEL: 0857-31-5377 FAX: 0857-31-5378
E-mail: danjup@u-bi.ac.jp
HP: http://www.sankaku.tottori-u.ac.jp/

室長：結井 由那 理事

Pear Pair 鳥取大学 男女共同参画推進室

鳥取大学男女共同参画推進室便り

Pear Pair 通信 第18号

2017年6月14日

●お知らせー男女共同参画週間をご存じですか？ー

このニュースレターを發まれている皆様は男女共同参画週間をご存じでしょうか？
内閣府男女共同参画推進本部において、毎年6月23日から29日までの一週間、実施しています。今年度は「男で〇、女で〇、共同作業で〇。」というキャッチフレーズが決定しました。男女のパートナーシップについてぜひ考えてみてください。

当室でも男女共同参画週間に関連するイベントを企画しております。開催はいずれも6月中です。どうぞご参加ください！

●活動報告1 女子学生のための企業見学会を開催しましたー

女子学生のための企業見学会を開催しました。昨年、9月に関西地方の企業を対象とした企業見学会を開いたのですが、過去のアンケートで県内企業への見学に対する要望が高かったため、今年は6月1日の開学記念日を利用して県内企業の見学会を行いました。見学先は寿製菓株式会社（米子市）、株式会社ケイス（米子市）です。当日は13名が参加し、企業の研究所を見学したあと、女性の研究員や社員との交流をしました。当日の報告、アンケート結果は近日中にホームページにて公開いたします。

●活動報告2 ー男女共同参画週間関連イベントを開催します！

男女共同参画週間に関連するイベントとして、以下のセミナーを開催予定です。

ODVセミナー
「その歴史大発見！ デートDVを知る 一被害者にも加害者にもならないために」
6月20日 16:30~18:00
広報センタースペースC（米子にLAN中継あり）

OGIセミナー
6月29日 16:30~18:00
広報センタースペースC（米子にLAN中継あり）

いずれも参加は無料です。また、学生の受講を歓迎します。当日参加もできますので、教職員、学生ともに、ぜひご参加ください！詳細は男女共同参画推進室のホームページをご覧ください。

●【この人に聞く！】

医学部保健学科の仲宗根美穂です。3人の娘（小、小、小）の子育てをしながら、小児遺伝病であるコマン・ベック病に型の研究をしています。学生時代から同じ研究に関わっていますが、子供の病気ということで、親になってこの研究テーマに対する思いが変わりました。

現在は女性研究を支援する「研究支援員制度」を利用して頂き、支援員に実験の補助をしてもらうことで限られた時間を有効に活用しています。また、働く母を助けるべく、3姉妹がよき家事を手伝ってくれるようになりました。大学・家庭からのサポートがあって初めて仕事ができることに感謝をし、これからも美穂さんやその家族のために研究を続けていきたいと思っています。

専門： 先天代謝異常症・脂質代謝
興味： 読書
最近のBBQ
（最近はお家で男がたれるので、アヒージョやアクアパッツァなど、お肉以外のBBQ料理ははまっています。）

●お役立ち情報 ライフイベントに関する制度のご案内

男女共同参画推進室では、ホームページにて出産・育児・介護などのライフイベントに関する制度の情報提供を行っています。「どんな制度があるのかはわからない」「どこに相談していいかわからない」「情報を知りたいが、ライフイベントが発生していないので周囲に聞きづらいなど、お悩みのかたにも気軽に情報収集をしていただけます。気になるかたはぜひご覧ください。

また、当室では相談業務も行っていきます。ワークライフバランス、対人関係、ハラスメント、キャリアアップ、進路についてなど、気になることがありましたら当室へどうぞ、ホームページ上で相談予約を受け付けております。

●ご要望・ご相談など下記までお寄せください

〒690-8501 鳥取市山鹿町南4丁目101
*連絡先は以下に移転しました！
(赤字が変更箇所)
人事課人事総務部（事務総務3階）
TEL: 0857-31-5377 FAX: 0857-31-5378
E-mail: danjup@u-bi.ac.jp
HP: http://www.sankaku.tottori-u.ac.jp/

室長：結井 由那 理事

Pear Pair 鳥取大学 男女共同参画推進室

Pear Pair 通信 第19号

2017年8月25日

●お知らせーコーディネーターが着任しましたー

7月より、男女共同参画推進室に新しいコーディネーターが着任いたしました。長谷 順子コーディネーターです。今号で紹介しておりますので、ぜひご覧ください。今後はよりいっそう、当室の機能強化に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。
また、コーディネーターの着任に伴いまして、人事課人事総務係へ一時的に移管しております窓口機能を男女共同参画推進室へ戻しております。期間中は不便とお感をおかけいたしました。今後とも男女共同参画推進室をよろしくお願いいたします。

この号の内容

- ◆お知らせ
- ◆活動報告
- ◆新任コーディネーター紹介
- ◆お役立ち情報
- ◆今後の活動予定

8/21 女子学生のための企業見学会
8/22 英語論文セミナー（米子）
10/19 英語論文セミナー（鳥取）

●活動報告1 -DVセミナーを開催しました-

8月20日にDVセミナーを開催しました。
DVに関するセミナーは今年度が初めてとなります。講師は川西 海美子先生（大阪私立学校人権教育研究会）をお招きし、「その恋愛大丈夫？ デートDVを知る -被害者にも加害者にもならないために-」と題して講演をいただきました。デートDVの概略や、当事者になったときはどうしたらいいか、また、他人との接し方についての啓蒙など、ユーモアを交えながらわかりやすくお話をいただきました。
当日は鳥取・米子あわせて15名の参加がありました。当日の報告、アンケート結果はホームページに掲載しております。ぜひ、ご覧ください。



●活動報告2 -LGBTセミナーを開催しました-

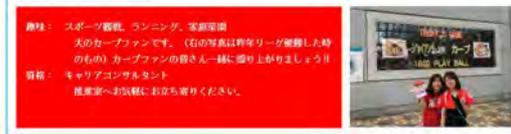
6月29日にLGBTセミナーを開催しました。
今回は講師に、サカキ「虹色くた」の学生を招き、「多様なセクシュアリティについて知ろう」と題して講演をいただきました。LGBTに関する基礎知識、「セクシュアリティとはグラデーションである」という気づき、また、「自分を、まわりの人を、大切にしよう!」という考えを持ってほしいことなど、講師の思いを語っていただきました。
当日は鳥取・米子あわせて17名の参加がありました。当日の報告、アンケート結果はホームページに掲載しております。ぜひ、ご覧ください。



なお、上記の2セミナーは、今年度の男女共同参画週間関連イベントとして行いました。皆様も男女共同参画推進について考える一助となれば幸いです。

●新任コーディネーター紹介 長谷 順子 (ながたに じゅんこ)

このたび男女共同参画推進室コーディネーターとして着任しました。
6月30日まで企業に在籍し、技術開発部門で20年、人事部門で10年キャリアを積みました。日々働かない言葉に戸惑っておりますが、女性役員として幸がたこと、苦労したこと等企業での経験を活かし皆さまを支援する商としてお役に立てればと考っております。
主人と一男一女の四大家族。二人の子は附属小学校、附属中学校の卒業生で、学内を通ずる子供たちを見ると懐かしさを感じます。
どうぞよろしくお願いいたします。



●お役立ち情報 英語論文セミナーを開催します!

男女共同参画推進室では、今年度も英語論文セミナーを開催します。
昨年同様45分を想定し、多数のご参加をいただきました。今年度は8年度版にいたしました。ご意見も募集し、分野をわけ、より専門性を高めた内容で行います。米子キャンパスにつきましてはすでに募集を開始しております。また、鳥取キャンパスにつきましても近日中に募集を開始いたします。
応募の際はホームページに掲載のチラシを必ずお読みいただき、取柄に沿って申し込みください。
多数のご参加をお待ちしております!

ご要望・ご相談など下記までお寄せください

〒690-8550 鳥取県鳥取市山町4丁目101
 ●鳥取コーディネーターの着任に伴い、窓口機能が推進室へ移りました！
 どうぞよろしくお願いいたします。
 男女共同参画推進室（地域学部4階）
 TEL: 0857-31-5768または内線2166
 FAX: 0857-31-5797
 E-mail: daicjyohi_sds.tokuri-u.ac.jp
 HP: <http://www.sankaku.tokuri-u.ac.jp/>

室長: 結井 由香 理事

Pear Pair 通信 第20号

2017年10月5日

●お知らせー休憩室&相談室を開設しましたー

8月1日より、男女共同参画推進室内のスペースの一部を使って【休憩室&相談室】を開設しました。詳細は【お役立ち情報】のコーナーに掲載しております。ご利用をお待ちしております。
また、7月より、男女共同参画推進室に新任室員が着任いたしました。教育センターの滝皮種子先生です。今号にて紹介いたしておりますので、ぜひご覧ください。
今後とも男女共同参画推進室の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

この号の内容

- ◆お知らせ
- ◆活動報告
- ◆新任室員紹介
- ◆お役立ち情報
- ◆今後の活動予定

ライフプランセミナー（人生設計）
鳥取市庁舎、米子市庁舎
10/19 コミュニケーションセミナー

●活動報告1 -女子学生のための企業見学会（関西版）開催-

9月20日～21日にかけて、女子学生のための企業見学会（関西版）を開催しました。
今回はサムロン株式会社、小林製薬株式会社の2社を訪問しました。17名の学生が参加し、各企業の研究所内を見学した後、第一線で活躍する女性研究者の方々と交流を行いました。参加した学生には、将来の進路を考えるよい機会となりました。
当日の報告につきましては男女共同参画推進室のホームページに掲載いたします。ぜひ、ご覧ください。



●活動報告2 -英語論文セミナーを開催しております-

今年度も英語論文セミナーを開催しております。講師は昨年度もお招きした山中裕子先生（株式会社ユー・イングリッシュ）です。今年度は分野ごとにクラスを分けて開催を企画しました。
米子の9月19日（水）には鳥取キャンパスで開催します！
席はまだ余裕がございますので、ご希望の方は早めにお申し込みください。
案内はホームページに掲載しております。
<http://www.sankaku.tokuri-u.ac.jp/wenkbjof/5453.htm>
米子地区では9月12日（火）に開催し、合計23名の参加がありました。参加者からは「自分の書いた文の評価を受けた」「本日に実用的だった」などの声があがられました。



●室員紹介 滝皮 種子 (たきなみ わかこ)

男女共同参画推進室の室員となりました。教育センターの滝皮種子です。
主に1・2年生を対象とした金学共通科目の英語を担当しています。
女性だけでなく、女性をサポートしながら一緒に頑張る男性にとっても働きやすい職場作り、協力しながら貢献できるといって頑張りたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。



専門: 英語教育

趣味: 日向ぼっこ、散歩、旅行、食べること

好きな言葉: Life is full of adventure.

●お役立ち情報1 【休憩室&相談室】を開設しました

男女共同参画推進室では、鳥取キャンパス男女共同参画推進室内に【休憩室&相談室】を8月1日に開設しました（利用時間：平日9時～16時）。【休憩室】は、勤務中の体調不良や結婚・産後等での気分すくれない方、授乳中にもご利用いただけます。また【相談室】として、研究活動や仕事と、育児や介護との両立をする上での不安や悩み等を相談できる場としております。皆さまのご利用をお待ちしております!



●お役立ち情報2 ライフプランセミナー（人生設計）開催!

ライフプランセミナー（人生設計）を開催します! 講師にファイナンシャルプランナーをお招きし、「人生の資金設計」についてお話をさせていただきます。住宅資金、教育資金等今後必要となる資金を明確にし、将来のための蓄えと備えを考え、それに対するキャリアプランを明確にするための一助となることを目的といたします。11月8日（水）に鳥取地区、11月中旬以降に米子地区にて開催する予定です。詳細が決まり次第、メールおよびHPにてお知らせいたします。ご期待ください!

ご要望・ご相談など下記までお寄せください

〒690-8550 鳥取県鳥取市山町4丁目101
 男女共同参画推進室（地域学部4階）
 地域学部管理室宛のコーディネーターをご利用ください。
 TEL: 0857-31-5768または内線2166
 FAX: 0857-31-5797
 E-mail: daicjyohi_sds.tokuri-u.ac.jp
 HP: <http://www.sankaku.tokuri-u.ac.jp/>

室長: 結井 由香 理事

平成29年度 男女共同参画推進室活動報告書

平成30年3月 発行

発行 鳥取大学男女共同参画推進室

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101

TEL: 0857-31-5769 (内線2166)

E-mail: danjyo@adm.tottori-u.ac.jp

男女共同参画推進室ホームページ

<http://www.sankaku.tottori-u.ac.jp/>



平成 30 年 4 月